



備中名所圖會

三

ル 4
4247
3



門凡全
4247
卷 3

名勝考下目次



高岡

松尾

野部

笠原野

玉田野

千屋野

原部

松永

小松永

河部

細谷川

大井河

長良河

河邊川

川崎河

鳴谷河

半澤文庫

早稲田大學圖書館
第30.2.23號
藏書

横谷川

河相

湯河

渡部

坂戸渡

横井渡

小田渡

泊部

龜泊

瀉部

阿智瀉

碕部

巖碕

木錦碕

月之碕

池部

備中名勝考下目

坂東池

龜崎池

石井池

新田池

澤部

長足沢

岡部

縣守岡

屋敷岡

瀨部

鏡瀨

泉部

萬葉泉

井初

松井

泉井

中井

福井

萬葉井

財井

龜樹井

山井

田初

玉田

稻初

板倉橋

石隈橋

松島橋

森部

石手森

石村森

備中名勝考下

小寺清之輯錄

岡部

○高岡

阿賀郡。中津井村に在。

大嘗會和歌集に云

後一條院長和五年十一月二日主基備中國

己帳
高岡
土音

内蔵権頭善流朝臣為政

高岡子初もあまの言易結や一乃の林も君字海り水

○松岡 未詳

大嘗會和歌集よ云

後冷泉院永承元年十一月十五日主基方備中國

木之頭魚文章博士讚波根藤原朝臣家經

晚冬松園多雪急客翫者

志んんふんくはみきたる松をふりてをきつむ志んん成るひ

野吟

○笠原野

下笠郡。过田村よ。笠田といへる所ありて。河色村よならびたり。これ

大嘗會和歌集よ云

備中名簿考下一

後冷泉院永承元年十一月十五日主基方備中國

木之頭魚文章博士讚波根藤原朝臣家經

孟冬笠原有雪得人

阿多野の川にけし世もさけのけしをふのけしかりふをさる

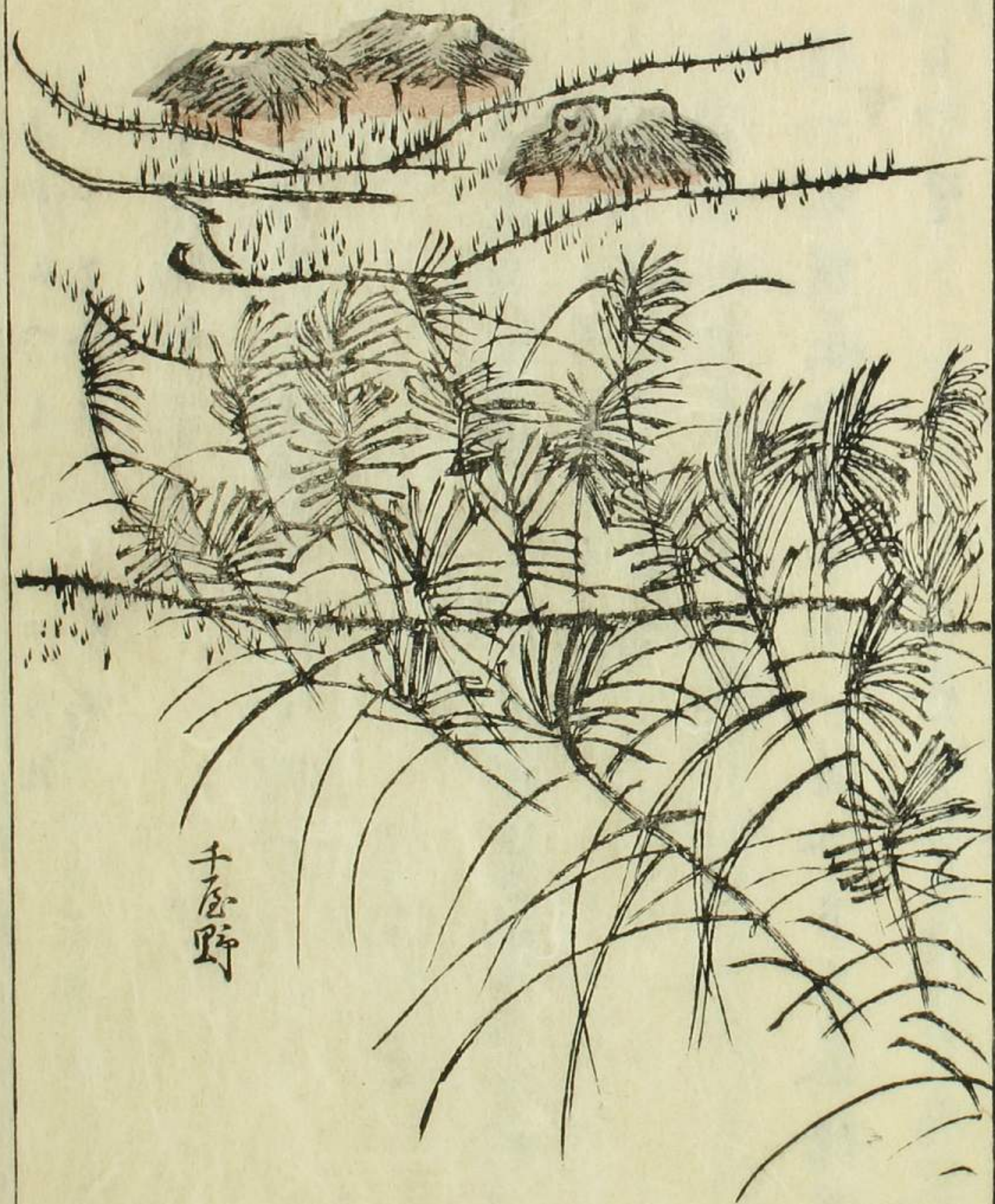
○玉田野

旧説よ。玉田村を。川上郡。玉村といふ。志んんからバ。是れ玉村の所と云ふ。

大嘗會和歌集よ云

玉田野

きいけりや玉田の野にけし世もさけのけしをふのけしかりふをさる



千屋野



備中名物考下二

系中よつて記さつた
とて里。今何うと免つ。

新拾遺和歌集よ云

高倉院御時大嘗會備中國

清輔和片

皇太子留於之御心付かきや豊のあつる形をん

○千屋整 阿賀郡。実村
の内。千屋整。

大嘗會和歌集よ云

後一条院長和五年十一月二日主基備中國

丁帖
七八月
ちや整

内藤権政善後朝臣為政

備中名鑑考下三

秋風をふくむちや整の花を記さるめてゐる君、万代

後三条院治暦四年十一月廿一日主基方備中國

前筑前守從五位上藤原朝臣經衡

七月
千屋野秋花盛開 系中よ。屋文字とたしをり。
今秋よよてたきなひつ。

君の代のちやの華は一つもやもくや氏の心形をくむ

原歌

○松系 川上歌。ニヶ村より。○この
考い。そでにあげつらひつ。

大嘗會和歌集よ云

後一条院長和五年十一月二日主基備中國

甲帖
正月 松系

内務省頭等巡視官為政

まはるるにむしある物にせむねあらひてそ君を曲つて

才町の白蛇。あらひゝねてぞい。あらそい
ゝねてのあやまりまはあらむや。

後三条院治暦四年十一月主基方備中國

前筑前守從五位上源氏經衡

五月
松系樹下行人馳駕

まはるるにむしある物にせむねあらひてそ君を曲つて

○小松系 下道新。市場村にあり。○市場入道
とも。小松系。そのふとある池

池といへる。

備中名簿考下四

夫木鈔云云

大藏卿隆教

正安大掌會所く名字 大掌會和歌集云云。正
安三年主基備中。

みよりねるねり二葉を引きて小松系より葉をさつむ

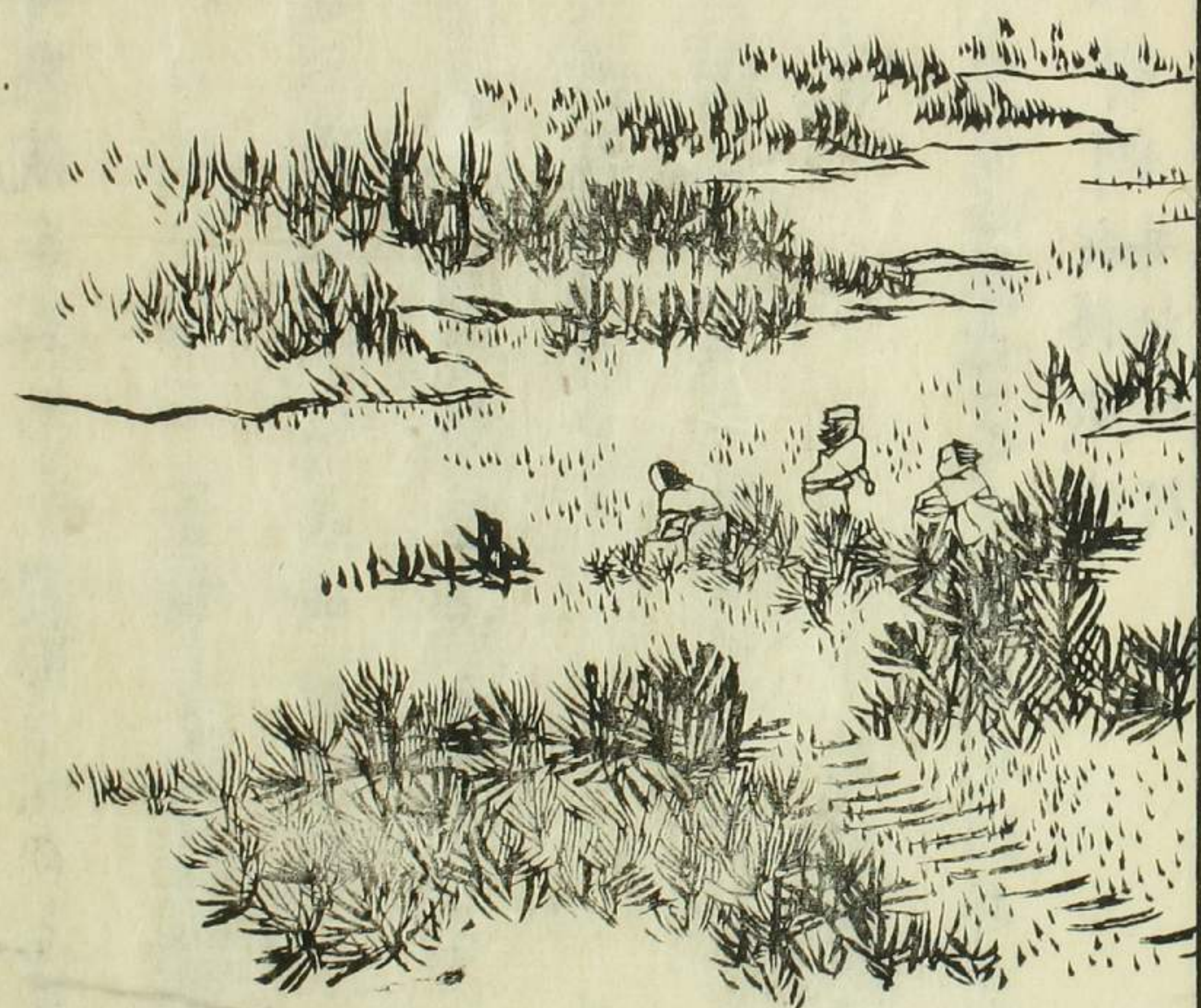
河部

○細谷川 賀陽郡。玄内村にそ。
○中山の東にそ。

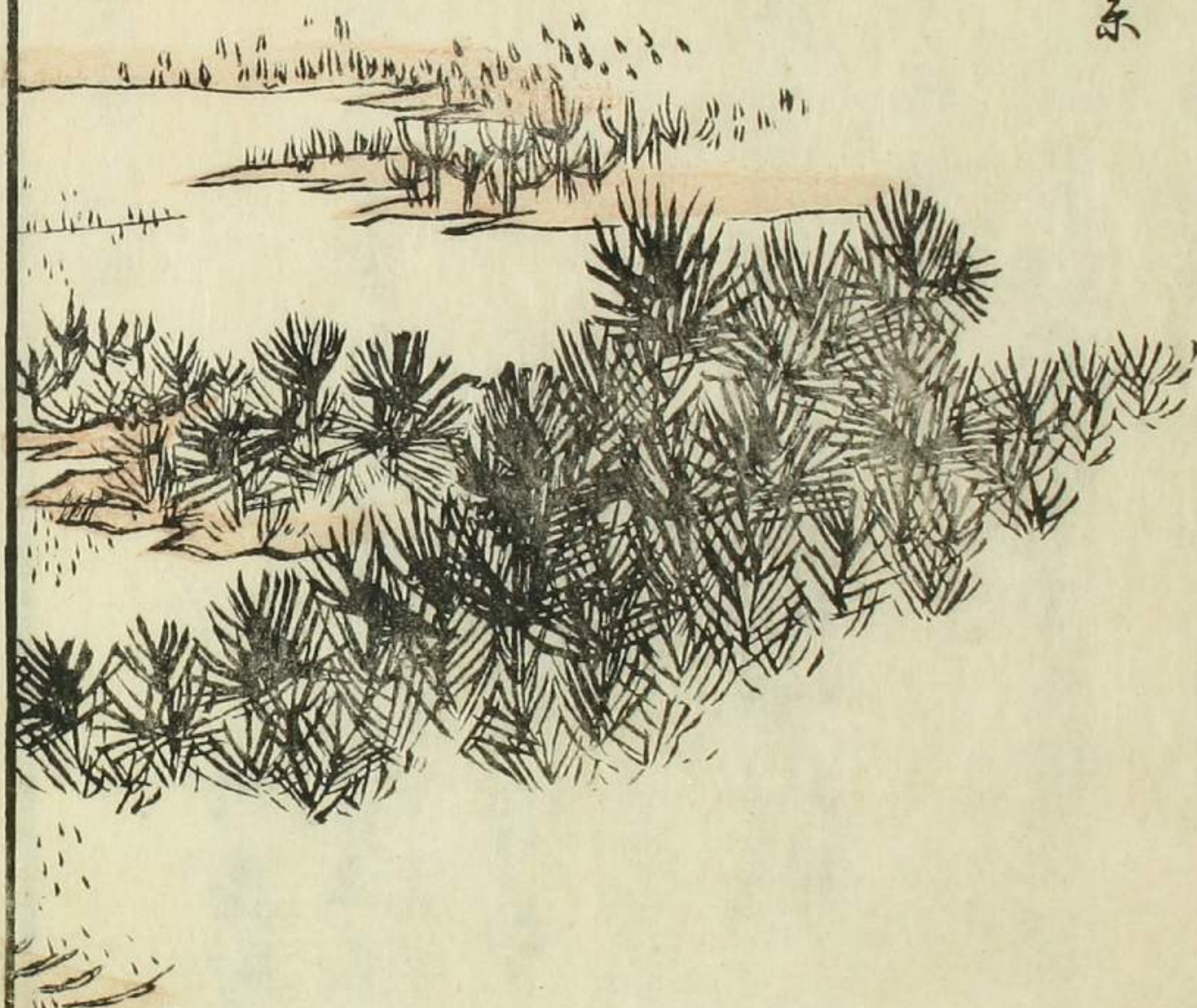
古今和歌集云云

まはるるにむしある物にせむねあらひてそ君を曲つて

大掌會和歌集云云



小松系



備中名橋考下五

後冷泉院永承元年十一月十五日主基方備中國

本三願寺書寫士讀法橋後藤宗於長良河

細谷川邊人々群居或於清瑞

山はなるきむの中山なるくして細谷川のまふみなるか

新千載和歌集よ云

備中國よくたり侍ける人々侍るに

よとる

三善資連

思ひつゝいの中山をくも細谷川はわつとてとるよ

○大井河

賀陽郡大井村の河。

備中名物考下六

大嘗會和歌集よ云

後冷泉院永承元年十一月十六日主基方備中國

本三願寺書寫士讀法橋後藤宗於長良河

晚夏大井河邊多襪後取

以末字新なる大井河のふりて襪を架け

○長良河

賀陽郡。長良村あり。今ハ河
作して。志留と號する井あり。

大嘗會和歌集よ云

後三条院治暦四年十一月主基方備中國

長良河

前筑前守後任左衛門尉藤原經

君代となつた河のあきつて底なる石も露れ

風雅和歌集よ云

正應元年大嘗會を基方屏風に奈加良川岸

兼盛開行人汲下流 正二位隆徳

汲人のよもひはしる月やなかりけり川の草けり

夫木鈔よ云

正安大嘗會 長良川 佑中

大莊卿隆教

彦早終ちるの末乃かみ川あをきとの村も終き

○河邊川 下を那。河邊村あり。○村の東に水より南に流る。河よりなり。

備中名所考下七

大嘗會和歌集よ云

後一条院長和弘年十一月二日主基備中國

丙帖 五六月 河邊川

内藤権政善源朝臣為政

ちをゆてしはる河邊川なるをよみしる。那りる

○川嶋河 河邊川の旧名

日本書紀云。吉備中國。川嶋河。派有大蚪。令苦人。

時路人觸其處而行。必被其毒。以多死亡。於是笠

臣祖縣守為人勇悍而強力。臨派淵。以三全瓢。投

水曰。汝屢吐毒。令苦路人。余殺汝蚪。汝沉是瓢。則

余避之。不能沉者。仍斬汝身。時水蚪化鹿。以引入
瓢。瓢不沉。即舉劍入水。斬蚪。更求蚪之黨類。乃諸
蚪族。滿淵底之岫穴。悉斬之。河水變血。故號其水。
曰縣守淵也。

○鳴谷川 下名。服村の。鳴たよと。ふ取。
の谷あり。西なる。と。セキヤとて。文字ハ。三
谷とかき。中なる。と。カナヤとて。文字ハ。金
と。鳴谷とかき。今ハ。ナルタ。と。唱へて。
先のミ。谷とヤと。まど。二の谷。谷。例よて。
ナリヤと訓で。き。形。け村。妖村。む。ひ
て。河と隔たり。妖山。一。目。足。わ。た。さ。新。
ふよて。妖のた。む。き。に。よく。かな。いたる

備中名簿考下八

ふなり。この卵。ハ。妖村の。あた。り。ハ。ナリ
ヤト。ハ。ふ。ハ。ち。ハ。記。名。ある。ふ。なり。ハ。考。ハ。
ハ。友。谷。以。燕。妖。尾。資。禮。ハ。こ。も
に。た。の。れ。ハ。あ。ハ。ら。ひ。ハ。形。

大掌舎和歌集よ云

後冷泉院承元元年十一月十日壬子基方備中國

本立願文書博士横濱林友家經

妖山下有水居其地即紅葉

秋もみけさなりや河を山をみらるる

○横谷川 小田郡。横谷村の。水。不。とり。と。吉井
た。是。ハ。大。なる。川。ハ。て。ハ。居。合。村。中。と
あ。り。ハ。な。る。ハ。小。川。あり。これ。形。

法くたもか
ゆるなり。

大掌会和歌集よ云

後二条院治暦四年十一月主基方備中国

前筑前守従五位上藤原朝光経衡

横谷川兼花多実

人々のよきいふ事さきくは横谷川よ今さうなり

示すは。結句の。今
と。く。は。誤り。

○河相 後月歌。川お村。○他の歌ふも。かきい
ど。そ。は。う。で。字。義。と。も。さ。ら。と。て。河。合。と
かけら。ハ。中。ノ。ハ。に。古。は。文。字。つ。く。ひ。と。も

れも。う。え。ど。この。故。も。今。ハ
後月歌なる。字。と。れ。る。なり。

大掌会和歌集よ云

後一条院壬和五年十一月二日主基方備中国

戊
巳
辛
酉

河お

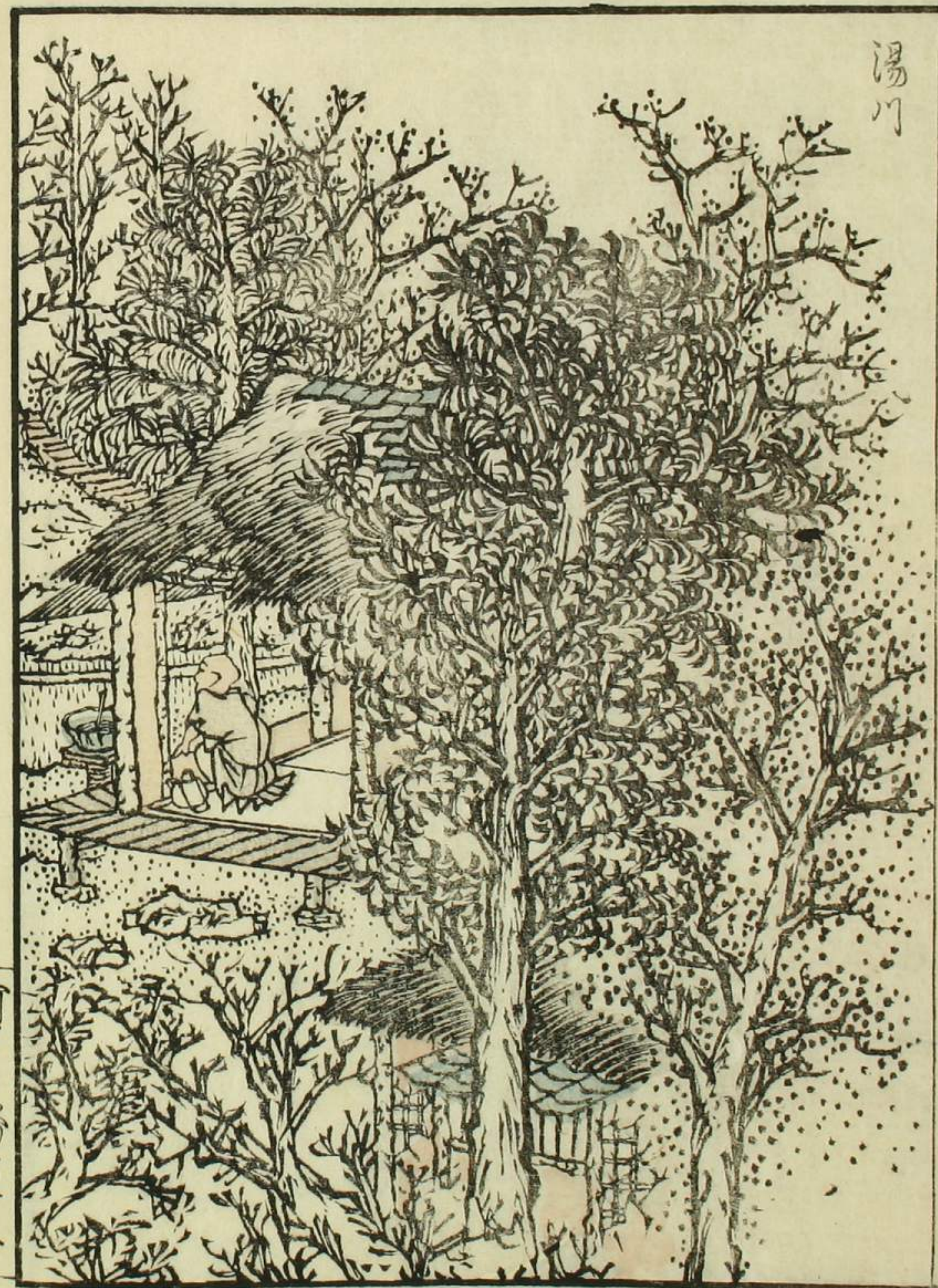
内蔵権頭善光院主為政

を。や。た。つ。の。か。き。い。の。は。な。れ。て。ふ。り。船。を。世。の。あ。つ。成。也。う。り

○湯川 阿契歌。土橋村。あり。○歌き。川。よ。よ
免。ち。に。そ。り。う。げ。き。ど。も。は。一。書。に。よ
り。て。こ。に。
ものしつ。

續古今和歌集よ云

備中国湯川といへる所にて 玄實僧考



湯門

備中名儒考下十

山田り。そのつのもうそれ杖をぬきこゝへ入る

渡部

○菰戸渡 考ハ。上は菰戸橋の所よりいへり。

大嘗會和歌集より云

村上天皇天夢九年主基備中國風俗神歌

姉らと

たけしけくあまはむつまのあゝ舟あはれりし和出りしけき

後冷泉院永承元年十一月十五日主基方備中國

本願要書上續後拾遺歌集於家傳

備中後拾遺下十二

乙帳云々
善基菰戸有系船見之客

はふさけちまゝしるも紫うすも。あつりあつり形れ

○小田渡 小田歌。小田村より。○今の歌路ハ。

をあらわし。いづて。を出村。本より村と。西へ

ゆき。形り。いつの流。つまか

さや人かたりつゝあり。

夫本館より云

備中國をたの渡と云ふは歌のくまふと

て系本より。をたを信て。をくちり。本洲の

歌路より。をくちいふ所なり。藤原系より。小田

は。こまふよりてあらたえつ。

大江嘉言 け々。對る
守又て。下

られし。物よ見ゆ。その時。け
歌をきれて。よみたまへる。

有明の月よおもつゝ出ぬまをさるるに居る影をさるる

○横井渡 下さ歌。岡田より。○け村より。けくら

わらぎ。是なる。こゝに堰あり。渡もさ
ふ事。下の井、歌。あがつらへる。

大嘗會和歌集よ云

後一条院長和歌集よ云十一月二日之基備中國

甲帖
二月
横井渡

肉飛槍歌集後長為政

さくらねえふのけしきと歌まにありき事や看る見ると

備中名簿下十三

泊初

○甕泊 後。初。無山村より。○け村より。むか

ち。無と。無と。かけ。借字。て。甕泊。い。ふ
も。それより。今。田畠。たれ。

大嘗會和歌集よ云

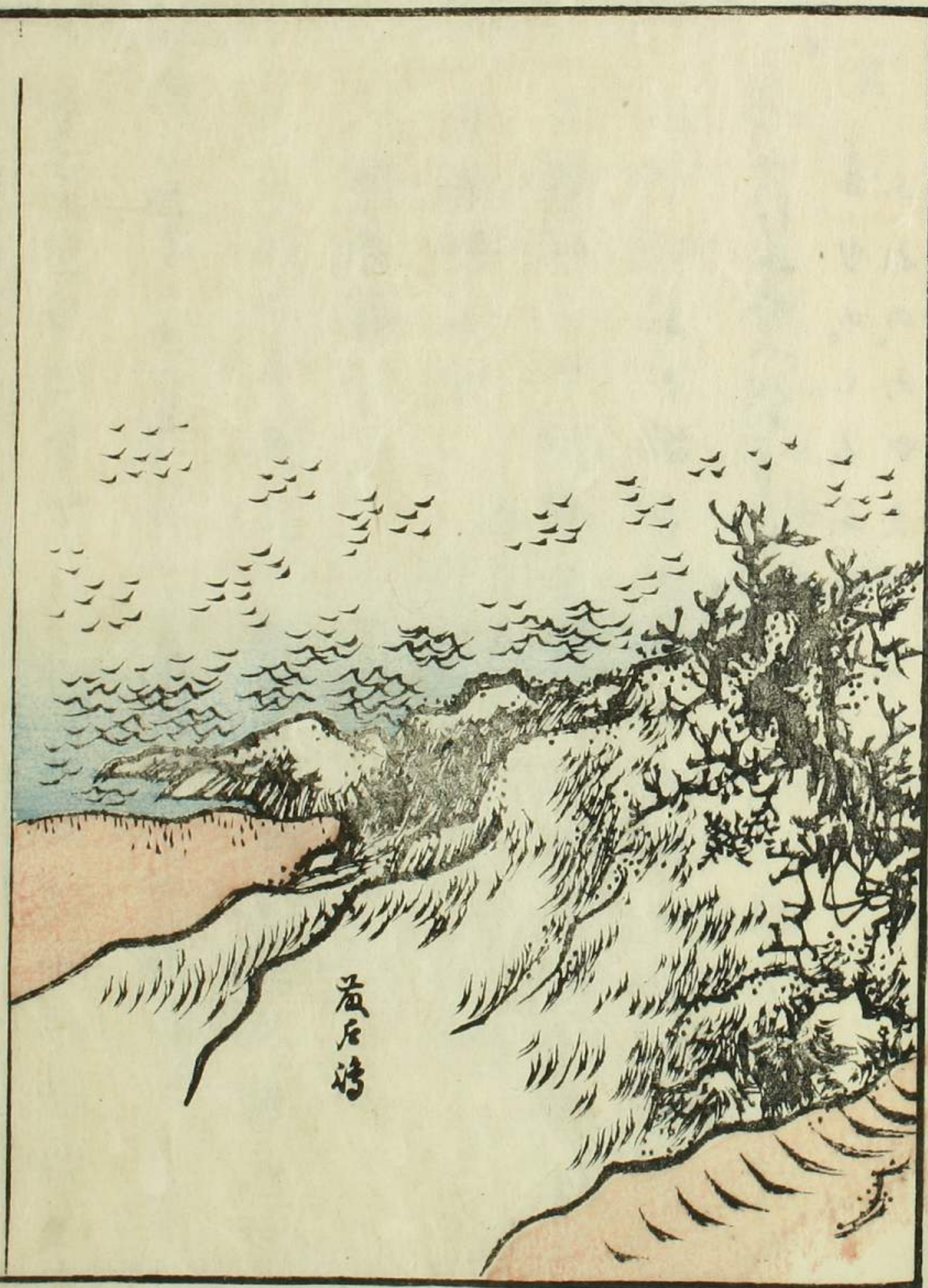
後冷泉院永承元年十一月十五日之基方備中國

本願寺文章博士續後醍醐天皇御記

退生考
毛存ひのとほり

はらひつむりひきし海より出てけしきぬる所と物の初

万代集よ云



禱

○震
村
2
2

續後撰和歌集云

仁治三年主基の風俗を正す

前中綱之經光

末孝之時代のけしき久しけきす。二筆の石詩乃松
大嘗會和歌集より云

大甞會和歌集二云

後冷泉院永承元年十一月十二日之基方備中國

集入考
叢詩

木石版魚文事博士張性懷廣東新會家經

備中名徠考下十八

岩さの山はひきあらず形勢はふくむ代のはり免なりと

○ 木綿子 考 漢 口 社 大 谷 村 といふ。○

夫本紂之云

奉宰臣以下
時
大玄子遠卿

[illegible]

○ 月 出 時
 小 田 新 社 時
 出 時 なる べし
 つ け け け け
 上 上 上 上
 の 肉 肉 肉 肉

大常舍和歌集 2 云

後三象院治曆四年十一月主基方備中國

月出清省系舟人
前抗前守從五位上殿系舟人經衡

夜半池



洛陽名物考下十五

備中名儒考下十七

たる 小山あり。それをまゐる。衆山といへり。
 まゝこゝに。産社。神前。神所。これよりいへり。
 て。今ハ古より。池あり。村人。此の所。故より。
 道と。能く。又池あり。村人。此の所。故より。
 赤らぬ。むかし。その水。田にも。富
 ふ。ひ。む。け。ら。そ。れ。が。え。て。その傍
 里と。昔ハ。廣か。り。た。が。え。て。その傍
 に。此。た。ふ。し。といふ。田あり。これ。衆山。此。な

るべくれも不ゆ。今。鶴おきあて。秋
のれもむきにり。よくなへり。同形。連語
。能。鶴。了。ふ。山。あ。れ。ど。も。池。な。り。そ。上。昔。ハ
備。前。四。児。寄。形。老。屋。々。なり。一。所。な。り。と。以
ば。説。も。あ。き
ば。と。ら。げ。

大嘗會和歌集よ云

後三条院治暦四年十一月主基方備中國

飛騨池上有鶴 前筑前守後位上皇系物部健衡

かきまは池よききまむまの鶴ハス一記友とありき

○石井池 浅口形。深田村。一。二。井。といふ取

大嘗會和歌集よ云

備中名勝考下十八

後三条院治暦四年十一月主基方備中國

石井池 前筑前守後位上皇系物部健衡

少り形すゐの池結おそ秋左衣も海人すん

○新田池 小田郡。入田村。ある。○新田と。いま

例え。和名。鈔。上。野。國。の。名。但。馬。國。城。崎
郡。結。郷。名。備。前。國。和。氣。郡。の。郷。名。さ。新。田
多。市。と。ある。に。同。じ。あ。か。ら。は。二。フ。も。古。云
た。れ。バ。秋。ふ。も。ニ。フ。と。よ。む。び。さ。ふ。さ。と
い。ふ。人。も。あ。る。で。け。も。と。秋。な。も。大。む。ね。羽
と。正。し。く。い。ふ。と。音。便。よ。て。正。し。か。ら。け。の。形。り。
ニ。フ。と。い。ふ。と。音。便。よ。て。正。し。か。ら。け。の。形。り。
ゆ。あ。る。た。り。け。例。ハ。越。中。國。新。川。と。万。葉。集
よ。免。る。た。り。け。例。ハ。越。中。國。新。川。と。万。葉。集

立山賦。余比可波能。曾能多知夜麻余。云
云。とよ免。此。れ。彼。の。新。名。とて。和名
紗。は。新。川。加。波。と。あ。里。是。二。フ。も。古。云。な。れ
ど。も。俗。ふ。一。て。二。七。ハ。雅。云。な。る。ゆ。え。了。あ
や。ず。

後一條院長和五年十一月二日主基備中國

新田池

肉體極其善從其為政

底法ふまひの代結れの面考ふなり

支本鈔云

正安大掌會 佐中

大藏經教

備中名物考下十九

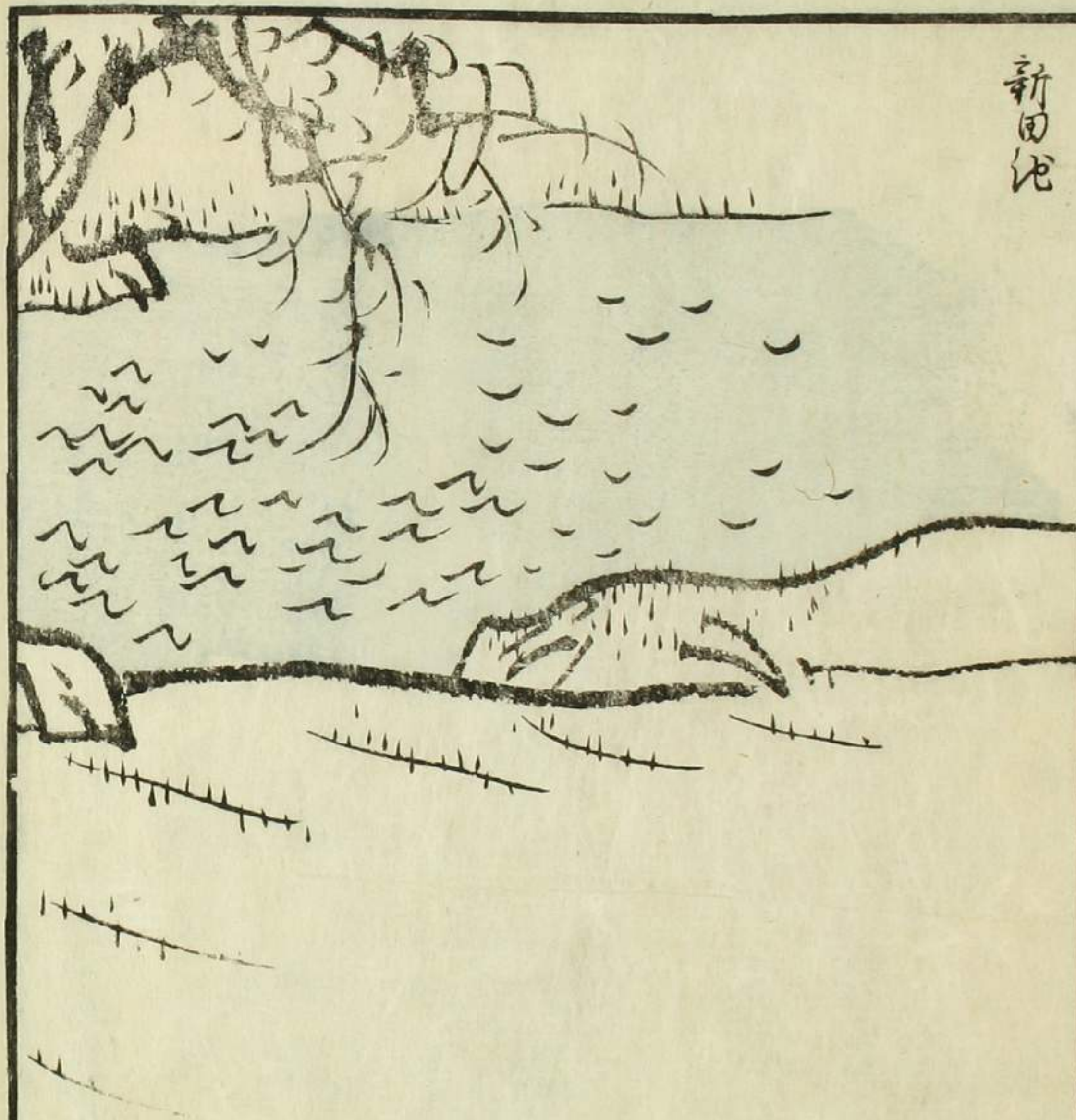
やゝ免てやちをひきまうきむひひを此の事はま柳

此沈と里人ハ。青羊沈といへり。けおふも
 沈ハあまふ所れども。小くして。古くとも
 見えず。まふ柳なり。たゞ此沈はのみ。今も
 柳何まふあり。こそそ然くみの柳然生つ
 ぎしものなるべし。和示雅。秋寐覚なぐに。
 け款を引て。安藝園の名所とせし。あや
 まりなり。八雲御抄に。安藝園の名所の
 よありて。園所なりと見誤る。ものの。次

澤部

○長足澤 未詳 ○川上新。三沢村。長通と
もとハ。ナガトホリといふ所あり。是
まきる。ナガトホリといふ所あり。是
にあり。このナガタシの。轉れども
なり。

けが文はこれの彼村
 よりたりし時村長
 某よりけりしあるう
 らなう此村長より
 ナガトホと云ふ所を
 とくつてありある
 へんくくくくくく
 もまへくくくおれ
 だにきつてあるね
 蓄くくく物くく



新田純

大嘗會和歌集云

後三条院治暦四年十一月主基方備中國

前筑前守從五位上藤原朝臣經衡

長足沢民家お連

系本よ。連の字を。運此字よ
あやまれり。今歌の意よ

里て。あら
たえつ。

なりきりよあきくきみりて信民のあきくきと結きくき。新

淵部

○縣守淵

淺口郡。源は村よみ。○河邊川の流。

る、愛知り。蚪の淵といふべきを。
今よこな女里て。三子淵といへり。

